




絹本着色宇喜多能家像



指定区分	国指定重要文化財(絵画)
読みかた	けんぽんちゃくしよくうきたよしいえぞう
所在地	岡山市北区後楽園 岡山県立博物館
指定年月日	平成9年6月30日
解説	縦約94cm、横約45cm。戦国武将、宇喜多能家の肖像画。能家は、岡山城主となった宇喜多直家の祖父。鋭い面がまえに戦国時代を生きた武将の激しい性格がうかがえる。戦国時代の終わりごろから地方武士が自らの肖像画を描かせるようになった中でも年代が早く、しかも絵のできばえもよい作品といえる。
アクセス方法	JR岡山駅から徒歩約25分／路面電車「城下」下車徒歩約10分／岡電バス「後楽園前」下車すぐ
公開状況	岡山県立博物館保管
設備	<p>駐車場は岡山後楽園駐車場を利用。</p> <p>    </p>
備考	

きつずページ



していくぶん (指定区分)	国指定重要文化財(絵画)
ぶんかざいめい (文化財名)	絹本著色宇喜多能家像
よみかた	けんぽんちやくしよくうきたよしいえぞう
しょざいち (所在地)	岡山市北区後楽園 岡山県立博物館
していたひ (指定した日)	平成9年6月30日
せつめい	宇喜多能家(うきたよしいえ)は戦国時代(せんごくじだい)の武将(ぶしょう)で、岡山城(おかやまじょう)を建(た)てた宇喜多直家(なおいえ)の祖父(そふ)です。この時代のおわりごろでは、位(くらい)の高い武士が自分の絵(え)をかかせることがさかんに行われました。